笑ひはんにや
百物語

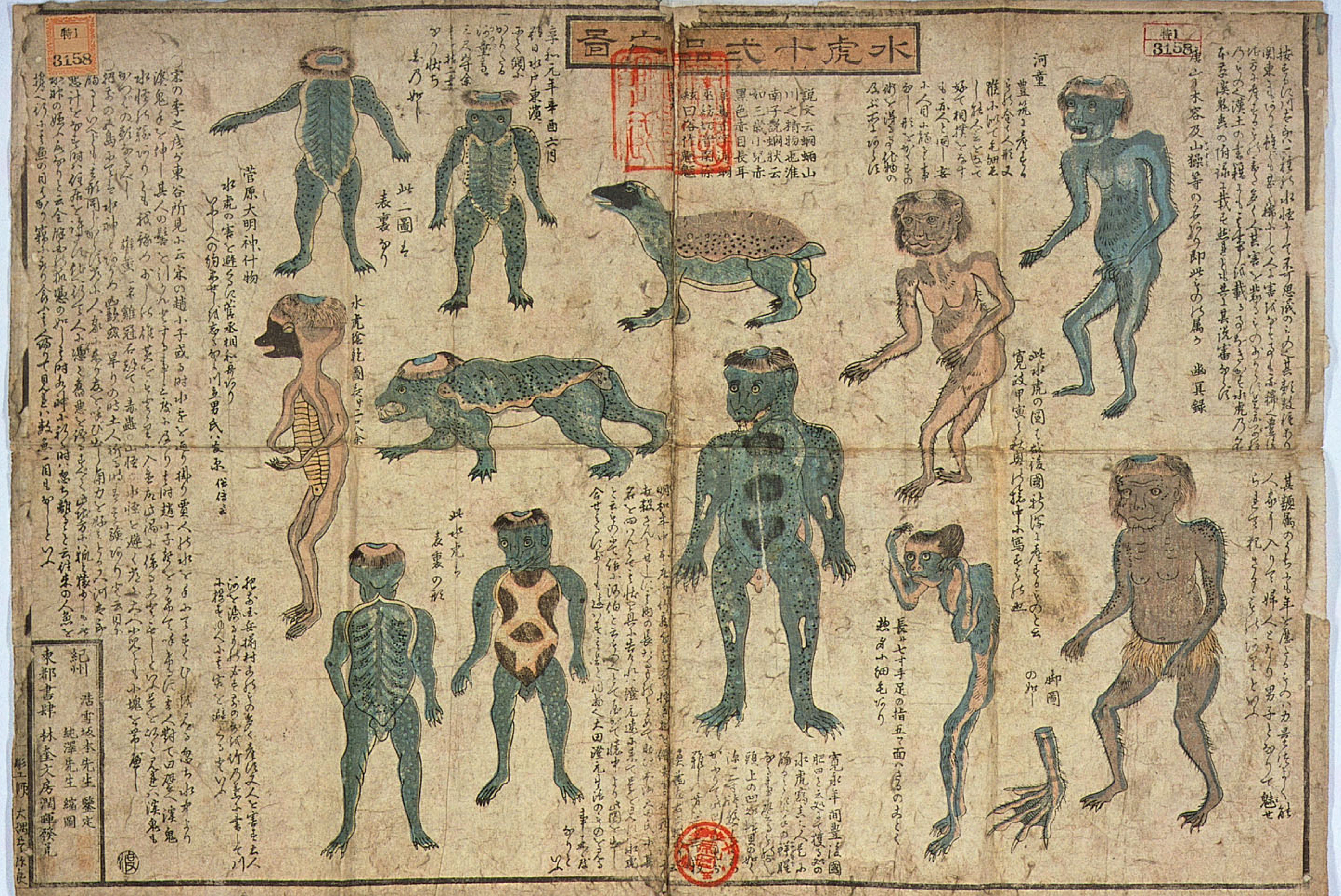
景忠夢中に
老貂の告を得て
赤井家の
長久をしる
前

足柄山（あしがらやま）
怪童丸（かいどうまる）

こはだ小平二
百物語
前北斎筆
霍喜板

暁斎楽画 第三号
SHI RI CO TAMA
シ リ コ タ マ
CIOORI
キ ヲ リ
KAWA
カ ワ
化々学校

特1 3158



特1 3158

惺々暁斎

惺々暁斎

惺々暁斎画

惺々暁斎

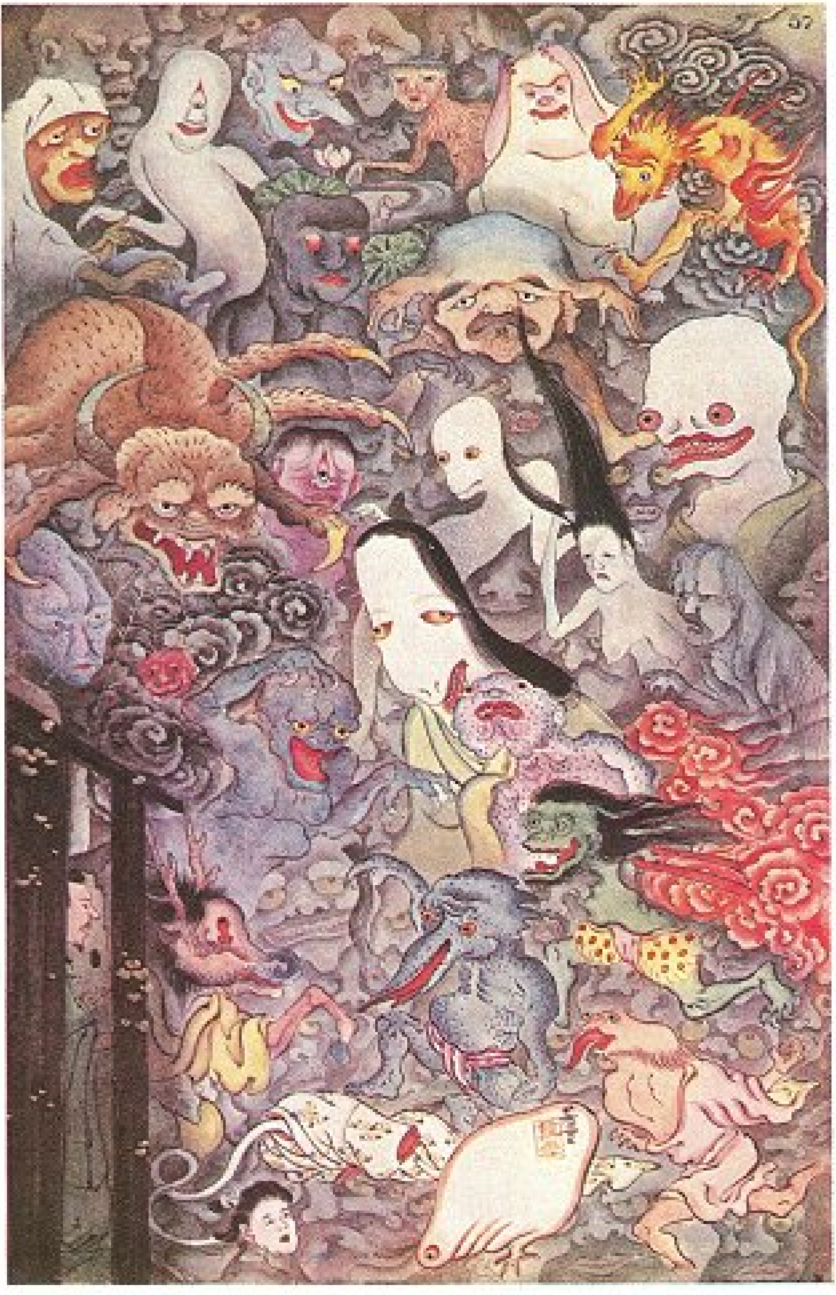
新形三十六怪撰
おもゐつゞら

惺々暁斎画

Tsukioka Yonejiro

Wakan hyaku monogatari : One

塵塚怪王



おとろし

大和の国西の京住ふ与一と申者あり
はけもの屋敷とて久しく住人なし与一
家に兵術志ありて
実否を見あらハさんと
一夜爰に忍ひ居る所ニ
子の刻ころと
おもふ頃障子
のあなたより
わとらう
声あり
すハ妖物

出たりと
縁の
ねきをくはらりとひらけハかひおれハ今さかさまくる
めくるあまた赤子おとり狂ふほとあいぬるみれハ
そうとうえうちに追ひに増し何百人と
いふ数を志らす縁のあたり満集
れい切拂んと太刀にてちとかくれとかい
ちゝもすくみてぬき放す事かなはす
気もおもへとせんかたなくみをもかくらち
おもひなくれハ隣子も気ぬかし奴

和国の侍二人京都より武蔵野に通ひ日暮て
せんかたなく草の四阿にたゝずみ夜更て
月出けるに程なく空かきくもり
ければ北の方より一雲起り風吹て月は隠れ
やゝおもひ居るうち其雲の中異形なる男
形の首あらはれて眼のひかり電の
如し両人の侍おどろき合ひ太刀を抜
其侍抜刀をとりなほし
ば彼異形のおそろ
しき声して
いふ今宵はよき
会らをはらくと
思ひしのみか
いふくもしきは
又手とのしら
消失ぬ後に会際の
かく焼石の眼くらみし
なりん